

OES005-09

会場: 302

時間: 5月23日14:55-15:15

阿蘇ジオパーク～火山と人との共生する大地～

Aso Geopark- The people living with volcano-

佐藤義興¹, 坂元英俊¹, 池辺 伸一郎^{1*}

Yoshioki Sato¹, Hidetoshi Sakamoto¹, shinichiro ikebe^{1*}

¹阿蘇ジオパーク推進協議会

¹Aso Geopark promotion office

阿蘇火山は日本列島周辺において、ユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートが潜り込むことによって形成される「西日本火山帯」に属している。九州島においてはそのほぼ中央部に位置する。そして阿蘇は世界でも有数の規模を誇るカルデラを有しており、約27万年前から9万年前にかけて、4回の大きな噴火を起こし、その結果大量の火砕流が中部九州一帯に分布している。4回目の大噴火の後、カルデラ内には中央火口丘群が生まれた。

阿蘇の人々は昔から火山と共生して暮らしてきた。「阿蘇くじゅう国立公園」の周辺には阿蘇の人々によって長年維持されてきた草原景観が広がっている。また火山は美しい景観や温泉、湧水、地熱発電、石垣や石橋の石材など、さまざまな恵みをもたらしてきた。さらに火山の営みが多様な動物相、植物相、気候風土、文化を育んできたのである。その結果、阿蘇は九州でも有数の観光地となっている。

一方、火山活動に関わる多くの火山災害も引き起こされてきた。とくに現在唯一噴火を繰り返している中岳においては、最近80年ほどの間に20人の犠牲者が発生している。

私たちは火山からもたらされる恵みと危険性が同時に存在することを十分に認識しなければならない。同時にこのような要素は地球科学の研究や子供たちへの教育、観光などにとって非常に重要なものである。我々はこのような阿蘇を守り、有効に活用することによって、「阿蘇ジオパーク」の価値をさらに高め、確立させていかねばならない。

キーワード:阿蘇,ジオパーク,火山

Keywords: Aso, geopark, volcano